

清里町まちづくり地域活動推進事業交付金が決まりました 共創のまちづくり事業（公募）



10月末日締め切りで募集していましたが、共創のまちづくり事業（公募）に、3団体4事業の申し込みをいただきました。
11月には、申し込み者から事業の概要などをお聞きしながら、まちづくり運動推進協議会が審査を行い、その結果に基づき事業が認定されましたのでお知らせします。
これらの事業に対して、町民皆様のご支援、ご協力をお願いします。
新たな事業を考えている団体等がございましたら、町民課町民生活グループへご相談ください。

共創のまちづくり事業内容

申請者	産後を考える会 代表 佐野尚美 構成員8名				
事業名	健康子育て事業				
実施内容	産後の体調不良や体質改善の変化などから「子育てを楽しめない」「次の出産を控えよう」など産後の母親のケアが子育てに大きく影響しており、母親の体調を整えて楽しい子育てを行うためのインストラクターによるボディーケア教室・講義による産後のケアを実施する				
総事業費	163,000円	交付率	10/10	交付金額	163,000円
申請者	清里盛り上げ隊 代表 上本憲生 構成員38名				
事業名	清里町子どもゆきまつり事業				
実施内容	ウインターフェスティバルに合わせて雪像製作とゲームの実施				
総事業費	450,000円	交付率	10/10	交付金額	300,000円 (限度額)
申請者	清里盛り上げ隊 代表 上本憲生 構成員38名				
事業名	子どもハッピー・クリスマス事業				
実施内容	町内の子どもたちによるクリスマスツリーの設置と町内の家庭を対象としたサンタからのクリスマスプレゼントの宅配を実施				
総事業費	300,000円	交付率	10/10	交付金額	300,000円
申請者	戦争の記憶を残す会 代表 長町雅彦 構成員8名				
事業名	地域文化創造事業				
実施内容	戦争体験をした世代が高齢化し、戦争体験や記憶が失われつつあり、体験や記憶を風化させないために体験した方々から体験談などを取材しDVD映像として記録し、様々な人々が利用できるよう図書館に寄贈する				
総事業費	56,000円	交付率	2/3	交付金額	37,000円

産後のケアで楽しい育児を

産後を考える会 代表 佐野尚美さん



私自身が妊娠・出産を経験して、また、お母さん方とお話をする機会が増え、産後の母親のケアが、その後の子育てや家族関係に大きく影響していることに気づかされました。

産後の心身の不調や体質の変化などから、「樂しめるはずの子育てが樂しめない」「今までとは違った感情を家族に持つようになった」「産後が心配で次の出産ができない」などのお話をおうかがいしました。

自らが子育て、家事、仕事の合間をぬって、産後のケアに有効な方法を探し出し、町外へ出て取り組むのは、とても大変なことです。

そこで、清里町で産後のケアを受け、自宅でもセルフケアができるようになればと考え、この事業を実施しようと思いました。

永野間かおり先生(NPO法人マドレボニータ認定産後セルフケアインストラクター)に講師をお願いして、産後2か月以上の女性を対象に「産後のボディケア&フィットネス教室」を開催しようと考えています。

内容は、バランスボールエクササイズやコミュニケーションワークショップ、セルフケアです。

会場はプラネットの音楽室で、3月から週に一度、合計4回のシリーズで開催する予定です。

子育て中の女性が対象なので、託児も準備しています。

2月には、チラシで皆さんにお知らせして、参加者を募集しますので、よろしくお申し込みします。

清里町の子どもたちに、夢と元気を!

清里盛り上げ隊 代表 上本憲生さん



私たちが子供のころは、冬でも樂しめる行事がたくさんあったのを、記憶しています。

そんな、子供のころの樂しい記憶は、大人になった

今も良い思い出として覚えていっているものです。今度、僕たちがその樂しい記憶づくりのお手伝いをする番だと思いました。

今、冬に外で遊ぶ子どもを見かけるのが少なくなりましたが、ぜひ、子供たちに夢と元気を届けることのできる事業を展開できたらと考えています。

今回は、商工会青年部と役場職員労働組合青年部のメンバー38名で事業を展開します。

子どもハッピー・クリスマス事業は、子どもたちがクリスマスツリーの飾りを自らの手で作って、町民の皆さんに見てもらえるうれしさを味わってもらえたらと考えています。また、メンバーがサンタに扮して、お預かりしたプレゼントをお届けする事業ですが、本当にサンタがプレゼントを運んできてくれる、そんなワクワクした夢のあるものにできたらと考えています。

子どもゆきまつり事業は、毎年開催している斜里岳雪合戦に合わせて、会場にすべり台や雪像を製作したり、ゲームを実施したりして、まさに子どもたちが、冬に外で遊ぶことのできる、樂しい思い出作りができる事業にしたいと考えています。

事業はチラシ等でお知らせしますので、皆さんの参加をお待ちしています。

戦争の記憶を後世に語り継ぐために

戦争の記憶を残す会 代表 長町雅彦さん



太平洋戦争が終わって70年経過している中、清里町でも当時の戦争を経験された方の多くが亡くなられています。

忌わしい記憶ではあるかもしれませんが、当時を知りうることはできる、貴重な証言をいただく時間は、それほど長くはないと感じていました。

記録をする方法は色々あると思いますが、やはり経験された方が実際に語る言葉には、経験したものでしかわからない重みのある言葉が語られるものと思いい、映像化するのが一番良い方法だろうと考えてました。

今回は、私も含め8名の会員で製作していこうと考えています。

当時の清里町の状況や、暮らしぶりなど様々な角度でお話をうかがえたらと考えていますし、学習教材の一部として使っていただけでもよいな、コンテンツや上映時間などの工夫をしたいと考えています。

多くの方に見てもらいたいと考えて、製作したDVDは図書館に寄贈したいと思っています。

当時の写真や資料などを探していますので、情報の提供にご協力ください。

代表 長町雅彦 (☎26-2255)

お問い合わせ先

町民課町民生活グループ (住民活動担当)

☎25-3267